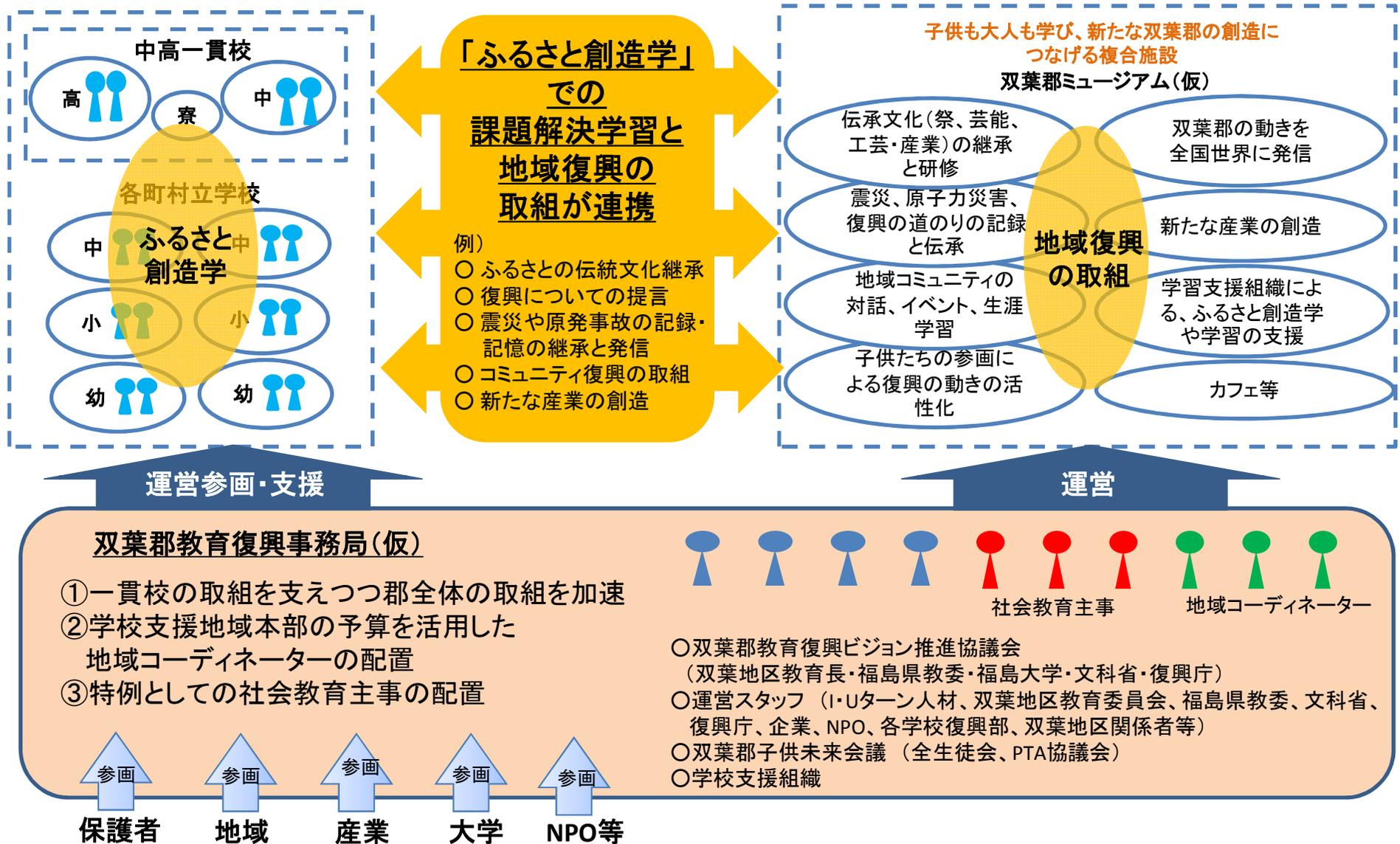
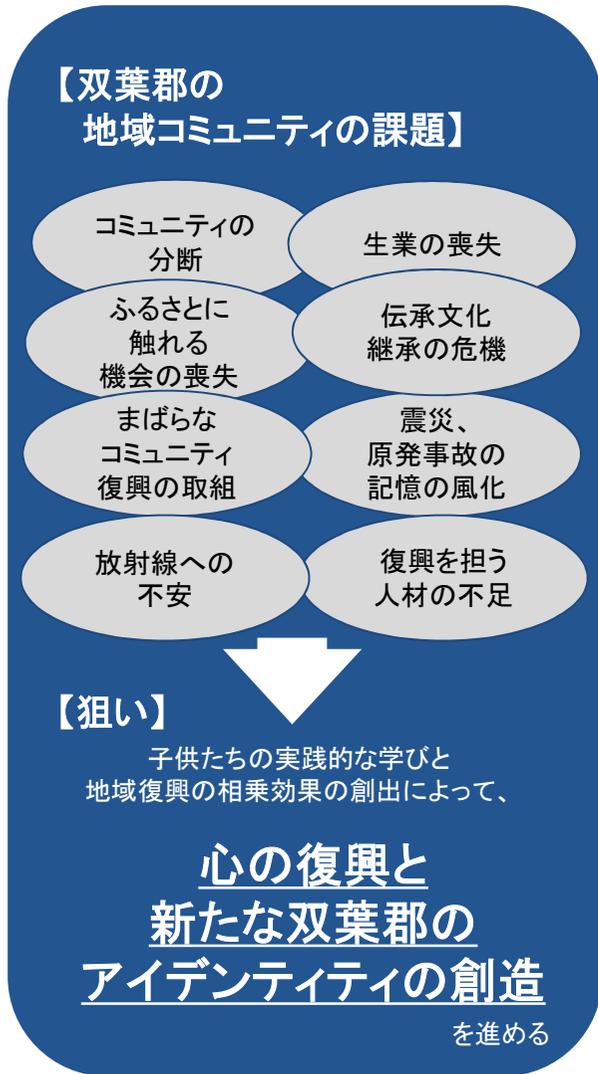


※ 当事者の主体性を引き出し各種取組を活性化するためにも、多様な当事者が参画して学校・併設施設の検討を進めることが望ましい

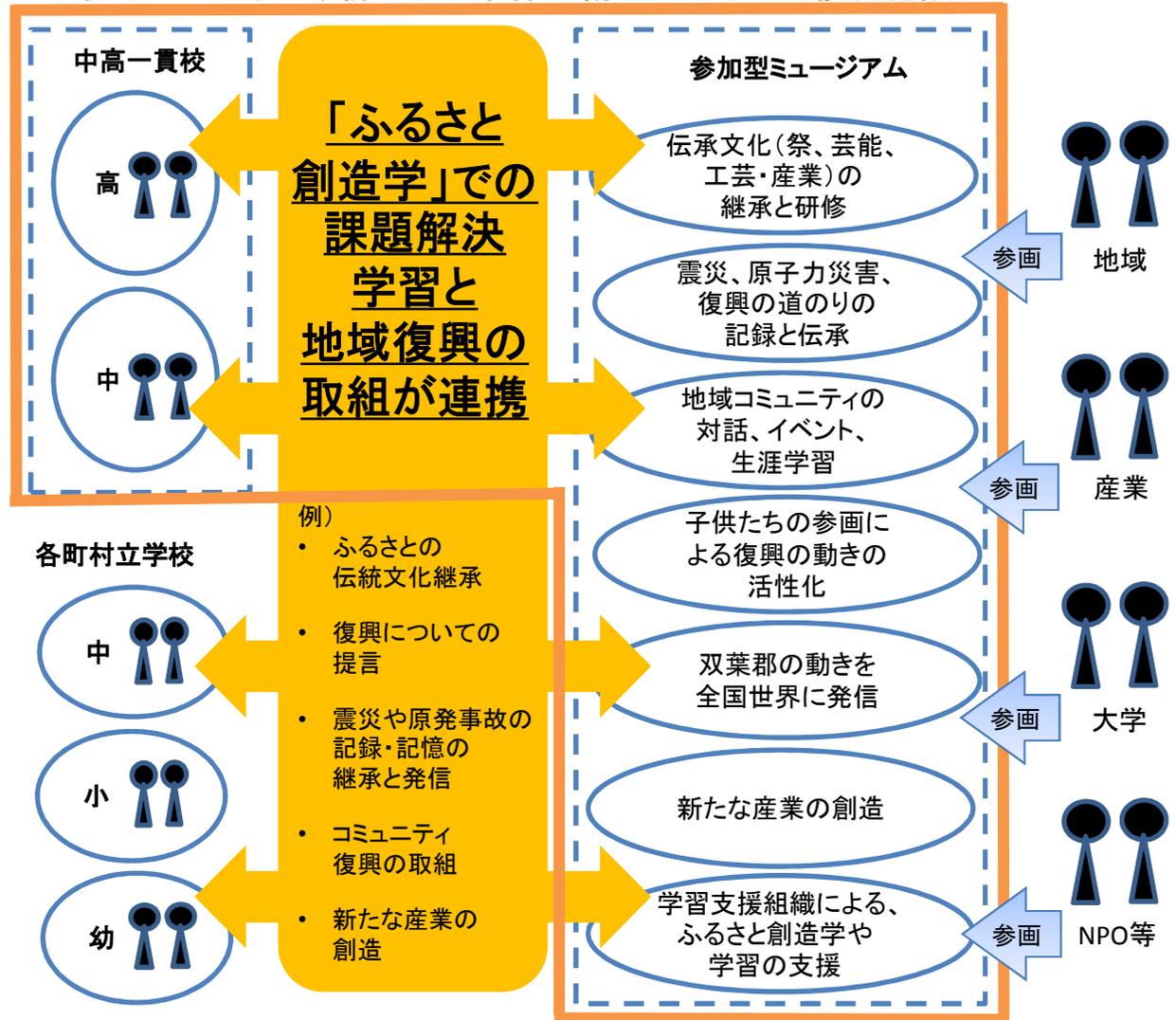
- 双葉郡の復興や持続可能な地域づくりに貢献し、全国や世界で活躍できる人材を育成
- 子供たちの実践的な学びで地域を活性化し、復興につなげる



# 双葉郡人材育成と地域復興の相乗効果を創出する取り組み(案)



## 子供も大人も学び、新たな双葉郡の創造につなげる複合施設

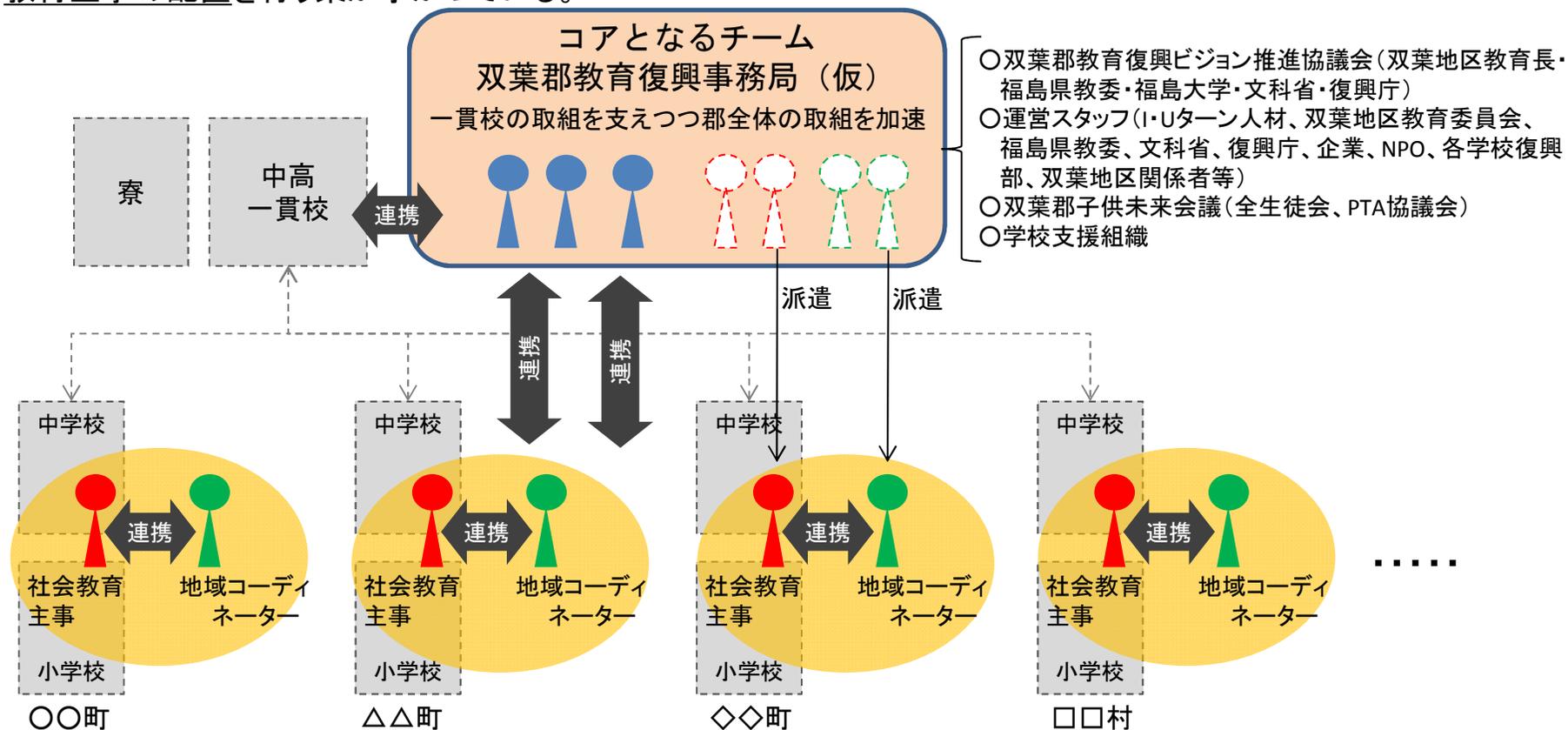


※ 当事者の主体性を引き出し各種取組を活性化するためにも、多様な当事者が参画して学校・併設施設の検討を進めることが望ましい

- 双葉郡の復興や持続可能な地域づくりに貢献し、全国や世界で活躍できる人材を育成
- 子供たちの実践的な学びで地域を活性化し、復興につなげる

## 双葉郡の地域総がかりでの教育復興推進体制(案)

- 地域総がかりで中高一貫校も含めた双葉郡の教育復興を進める体制の構築が必要である。その際、海士町での視察も踏まえて、①外部人材の活用、②確固たる学校と支援組織の連携体制の構築、③関係者での口癖と絵の共有が重要である。
- 第2WGにおいて、①一貫校の取組を支えつつ郡全体の取組を加速させるコアとなるチーム(双葉郡教育復興事務局:仮称)を構成し、②学校支援地域本部の予算を活用した地域コーディネーターの配置と、③特例としての社会教育主事の配置を行う案が挙げられている。



### 【検討課題】

- (1) コアとなるチームの顔ぶれの検討
- (2) コアとなるチームの担う具体的役割の明確化
- (3) 各町村に派遣するコーディネーター・派遣社会教育主事の担う具体的役割の明確化
- (4) コアとなるチームと、各町村の学校支援地域本部の関係性の検討
- (5) コアとなるチームと、各校長(町村立学校、中高一貫校)との関係性はどうあるべきか